

疾患に対しては、実習前より少し広い視野で見られるようになりました。臨床では同じ診断名の患者でも症状が異なり、合併症の有無などによって対応を変更せざるを得ないこともあれば、患者さんの価値観や要望などで治療方針が変わることもあります。中には、最新の治療法や知見も含まれており、自分にとって新発見となっています。それらを自身にフィードバックしていくことで、知識面で良い刺激になっています。

また、後期より新しく始まった倫理討論会を通して臨床医療における倫理について学ぶことができました。倫理討論会とは、テーマを1つ提示し、それに関する倫理的問題に対してどのように対処するかを考察する実習です。この実習で提示される事例は単純に医学的知識、技術などで解決できるようなものではなく、法律的な観点、経済的状況、患者や医療者の価値観など多くの視点から考察することが要求されます。そして導き出された答えは人によって異なり、ただ1つの正解が存在するわけではありません。この実習で自分は「医療において何が患者さんの幸福であるのか」を念頭に考えているつもりですが、他の皆さんの答えは自分の想像もつかないような観点で導かれたものがとても多く、考えの深さに驚かされます。倫理討論会を通じて、様々な考え方を学ぶことができ、臨床医療における価値観を改めて考えさせられる良い機会となりました。

ここで挙げた事以外にも、臨床実習で学べることはたくさんあります。これからは国家試験に向けて忙しくなってきますが、座学だけでなく、実習を通じてもっと実臨床の奥深さを学んでいきたいと思いました。

## 4年次近況報告

工藤真未（4年次）

医学科同窓会会員の皆さま、はじめまして。4年次の工藤真未と申します。

沖縄もようやく涼しくなり、日中は暖かな陽射しもあり過ごしやすい季節となってきました。

4年次になり半年が過ぎましたが、ふりかえると4月から今まであつというまの日々でした。春には多くの部活が主管校として九州山口大会で運営と競技を行い、それが終わるとすぐにテストラッシュが始まり、その合間に3年ぶり



の、今回は企画する立場での渡嘉敷研修があり、仲間たちと楽しい時間を過ごせました。

そして待ちに待った5日間の離島実習がありました。私は、石垣島と、西表島に行きました。沖縄県に来て4年目になりますが、離島にはほとんど行ったことがなく、2つの島も初めて訪れたため、見るもの聞くもの食べるものすべてが新鮮でとても充実した5日間となりました。石垣島のプログラムでは2人ずつ4つの離島に行ったのですが、話を聞くと距離的にはほとんど離れていない島々なのに、その島ごとの雰囲気がありどの島もとても魅力的で、大学生のうちに色々な島に行ってみたいと思いました。と同時に、この3年間（特に、時間のあった1年生）に行かなかったことを後悔しています。後輩には、せっかく沖縄にいるのだから離島に行くことをぜひおすすめしたいです。

楽しかった1ヵ月半の夏休みも終わり、残り2ヵ月だねえなんて言っていた授業が終わり、最後のテストも受け、もう皆で同じ教室で講義を受けることもないんだなあと思うと少し寂しい気持ちになりますが、寂しさを感じる余裕もなくCBTが1ヵ月後にせまってきました。4月にははるか先と思っていたCBTが1ヵ月後には終わっていて、2ヵ月後にはポリクリが始まると思うと、わくわくすると同時にもっと勉強しなければいけないとひしひしと感じます。

これからのCBTやポリクリもみんなで頑張って、残り2年充実した学生生活を送りたいです。

## 3年次の近況報告

清水建之（3年次）

秋も深まり、寒さが身に染みる季節になった。地元はもっと寒いはずなので、沖縄の寒さに慣れてしまうと帰省時に大変な事になりそうである。

さて、3年次の講義は基礎医学が終わり、臨床系が始まった。臨床の講義は、実際の症例やエピソード、写真、動画が多く、現場を意識しやすくなってきている。何度見ても、重度の皮膚疾患などは目を背けてしまいたくなるが、プリントや教科書にももしっかり載っているの、覚えなくてはならない。

また、11月中旬には病院実習があり、さらに現場を感じ

